



奈良県感染症情報

令和7年第22週(5月26日～6月1日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.79	(10.25)	➡	⬇	➡	⬇
2	A群溶連菌咽頭炎	2.00	(1.13)	⬆	➡	⬆	⬆⬆
3	伝染性紅斑	1.46	(1.25)	⬆	⬆	⬆⬆	➡
4	手足口病	1.25	(1.08)	↗	⬆	↗	➡
5	咽頭結膜熱	1.04	(0.58)	⬆	⬆⬆	➡	⬆

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **⬆⬆**急増、**⬆**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**⬇**やや減少、**⬇**減少

◆ 県内概況 ◆

第22週のA群溶連菌咽頭炎の定点当たり報告数は2.00で、前週の1.13と比べ増加しています。A群溶連菌咽頭炎は、急な発熱やのどの痛みなどの症状が現れます。通常は1週間以内に改善し、予後は良好な場合がほとんどですが、まれにリウマチ熱や急性糸球体腎炎などの二次疾患を起こすこともあります。早期の適切な抗菌薬治療により重症化を防ぐことができるため、急な高熱等の症状が現れた場合は、早めに医療機関に相談しましょう。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は1.46で、前週の1.25と比べ増加しています。伝染性紅斑は多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日くらい前に微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。感染拡大防止のため、体調が優れないときは、マスクの着用や不要な外出を避けるなどの対策をお願いします。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

予防接種や健診以外の来院数は減少している。

インフルエンザと水痘は一部の学校で発生している。散発的で流行ではない。

手足口病やヘルパンギーナと診断した例は無い。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

発熱の例がやや増加、インフルエンザ(1例)、COVID-19(1例)に接触したとのことで発熱で受診した児(別々の児)があった。受診児は陰性であった。

咳嗽例も多く、幼児ではRS陽性例が1例、hMPはなかった。

年長児のやや執拗な乾性咳嗽の例が増加、マイコプラズマ陰性で経過に注目しているところ。

感染性腸炎も流行中、数回の嘔吐、軟便程度の軽症経過であるが初期に高熱を伴う例が多い。

1歳半の高熱、咳嗽例でアデノ、RSの重複感染例があった。

今週はA群溶血性連鎖球菌、伝染性紅斑、ヘルパンギーナは見られなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染症は全体として減少傾向にある。感染性腸炎はやや減少しているものの、依然として散見される。

インフルエンザおよびCOVID-19の報告は認められない。

ヘルパンギーナなどの咽頭炎はやや増加傾向にある。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ	41	10	9	9	9	4		
インフルエンザ	13	5		4	4			
	(0.32)	(0.50)		(0.44)	(0.44)			
新型コロナウイルス感染症	42	6	10	4	16	6		
	(1.02)	(0.60)	(1.11)	(0.44)	(1.78)	(1.50)		
小児科定点数	24	6	5	6	5	2		
RSウイルス感染症	5	2	1		2			
	(0.21)	(0.33)	(0.20)		(0.40)			
咽頭結膜熱	25	5	5	4	9	2		
	(1.04)	(0.83)	(1.00)	(0.67)	(1.80)	(1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	48	5	6	6	28	3		
	(2.00)	(0.83)	(1.20)	(1.00)	(5.60)	(1.50)		
感染性胃腸炎	187	31	39	44	71	2		
	(7.79)	(5.17)	(7.80)	(7.33)	(14.20)	(1.00)		
水痘	10	4	5		1			
	(0.42)	(0.67)	(1.00)		(0.20)			
手足口病	30	1	5	5	19			
	(1.25)	(0.17)	(1.00)	(0.83)	(3.80)			
伝染性紅斑	35	9	9	8	8	1		
	(1.46)	(1.50)	(1.80)	(1.33)	(1.60)	(0.50)		
突発性発しん	7		2	1	3	1		
	(0.29)		(0.40)	(0.17)	(0.60)	(0.50)		
ヘルパンギーナ	7	4		1	2			
	(0.29)	(0.67)		(0.17)	(0.40)			
流行性耳下腺炎	2	1		1				
	(0.08)	(0.17)		(0.17)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	5		1	3	1			
	(0.50)		(0.33)	(1.50)	(0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1		
細菌性髄膜炎	1					1		
	(0.17)					(1.00)		
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1					1		
	(0.17)					(1.00)		
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

令和 7 年 第 22 週 5 月 26 日 ~ 6 月 1 日

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、郡山1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件(奈良市1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(吉野1) 梅毒6件(奈良市1、郡山3、中和2) バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件(郡山1) 百日咳8件(奈良市4、郡山1、中和3)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	0	新型コロナウイルス感染症	3
---------	---	--------------	---

❖ 急性呼吸器感染症 (ARI) ❖

保健所別 報告数	奈良県	北部			中部		南部						
		奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野							
定点数	41	10	9	9	9	4							
急性呼吸器 感染症	1909 (46.56)	311 (31.10)	311 (34.56)	576 (64.00)	624 (69.33)	87 (21.75)							
年齢別													
年齢	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計
男	88	456	170	65	32	21	25	26	16	20	28	16	963
女	81	445	127	65	33	23	33	33	26	30	23	27	946

❖ 第22週のトピックス ❖

伝染性紅斑(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/fifth_disease.html

上段:報告数 / 下段:定点当たり報告数 報告数÷定点数

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男								1		1		1		1		1	2				7	2994
	女		1				1						1	1		1						6	2903
新型コロナウイルス感染症	男	2		3									1	1	2		3	1	3	3	4	23	1822
	女		1										1	1	1	2	4	3	2	2	2	19	2012
年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-							合計	累計
RSウイルス感染症	男		1	1	1																	3	475
	女			2																		2	438
咽頭結膜熱	男		1	2	4	1	3		1													12	124
	女	1		7	2		1		1	1												13	101
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1	1	7	6	3	5	3	1	6									34	423
	女					1	3	6	1	2			1									14	334
感染性胃腸炎	男	1	17	17	13	11	6	7	7	6	2	4	7	3	5							106	2886
	女	2	10	10	12	8	6	4	4	3	4	4	7		7							81	2546
水痘	男							2		1		2	3		1							9	61
	女												1									1	54
手足口病	男			6	3	4	1	4	1													19	137
	女		1	1	1	3		2		1	1			1								11	90
伝染性紅斑	男				2	1	4	2	3	2		1	3									18	124
	女			1	2			4	1	1	4	2	1		1							17	110
突発性発しん	男			5																		5	86
	女		2																			2	66
ヘルパンギーナ	男			3		1																4	12
	女		1	1		1																3	6
流行性耳下腺炎	男																						10
	女		1								1											2	9
年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計	
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						2
流行性角結膜炎	男									1				1	1							3	28
	女										1					1						2	43
年齢区分	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					合計	累計
細菌性髄膜炎	男																						
	女																1					1	6
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						24
	女				1																	1	29
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						16
	女																						15

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

R7
 R6
 R5
 過去10年平均

